

令和3年10月20日

横浜市長
山中 竹春 様

横浜市下水道事業経営研究会
下水道施設の包括的管理委託検討部会

部会長 長岡 裕

委員 伊集 守直

委員 加藤 裕之

専門委員 池田 陽子

専門委員 鈴木 智子

南部汚泥資源化センター包括的管理委託における
落札候補者の選定結果について

標記について、横浜市下水道事業経営研究会下水道施設の包括的管理委託検討部会におきまして別紙のとおり審査を行いましたので、その結果を報告いたします。

1 本事業の概要

環境創造局南部汚泥資源化センターでは、現在、包括的管理委託（平成 28 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日）を実施しており、令和 4 年度から 6 年間の包括的管理委託の更新にあたり総合評価を行い、落札候補者を決定する。

(1) 件名

南部汚泥資源化センター包括的管理委託

(2) 履行場所

南部汚泥資源化センターほか 7 か所

(3) 履行期間

令和 4 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで（6 年間）

ただし、次の期間を業務準備期間とする。

令和 4 年 1 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

なお、業務準備期間の経費は落札者の負担とする。

2 審査方法等

(1) 事業者選定の方法

価格だけではなくその他の条件（公共施設等の機能性、公共サービスの水準等）も加味し、総合的に勘案して落札者を決定するため、「総合評価一般競争入札方式」による事業者選定を行った。総合評価一般競争入札とは地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に規定された契約方式である。

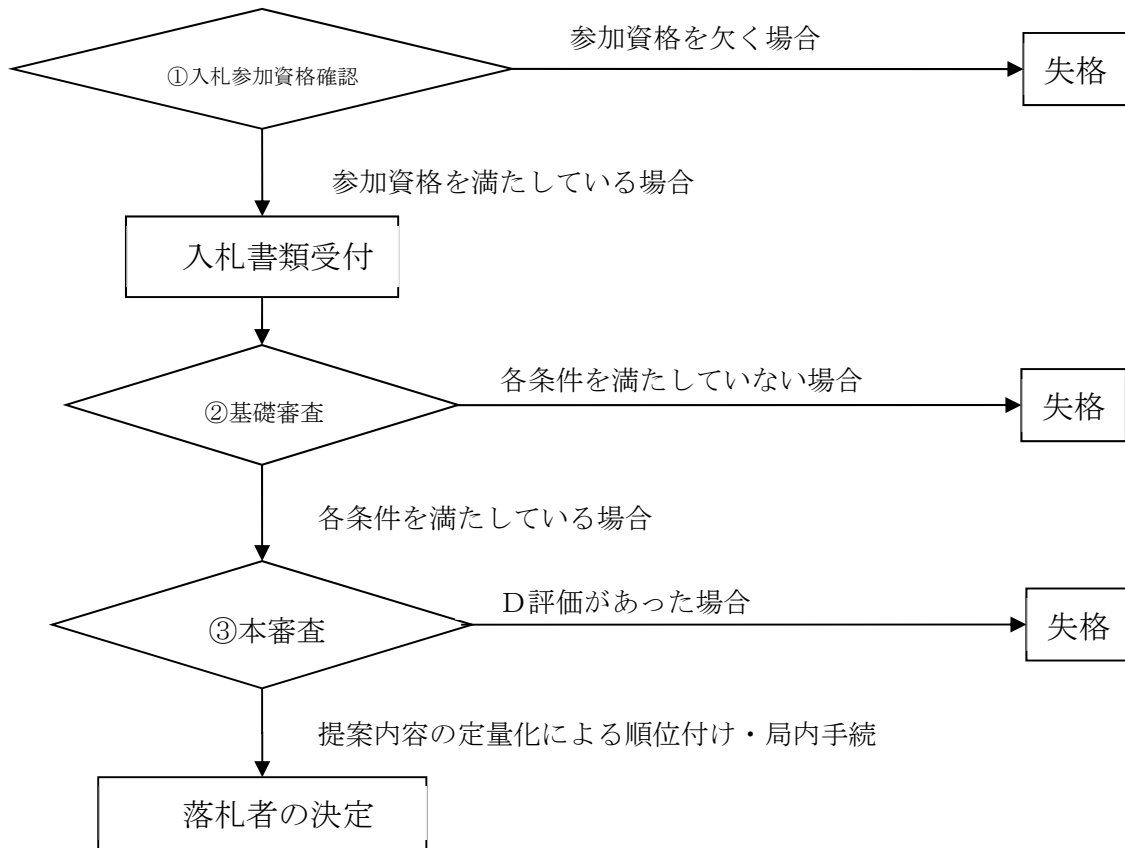
(2) 検討部会

次期契約を履行するにふさわしい業者について総合評価による審議をするため、「横浜市下水道事業経営研究会運営要綱」第 6 条に基づき「下水道施設の包括的管理委託検討部会」を設置した。検討部会を構成する委員は、次のとおりである。（敬称略）

部会長	長岡 裕	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 教授
委員	伊集 守直	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授
委員	加藤 裕之	東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
専門委員	池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
専門委員	鈴木 智子	鈴木智子公認会計士事務所 公認会計士・税理士

(3) 落札者の決定の基本的考え方

落札者の決定の基本的な考え方は、次のとおりである。



(4) 提案評価

質に関する評価点は、アに示す評価項目ごとに、イに示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は失格とする。

ア 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
実施方針	汚泥資源化センターの特性や市における本事業の位置づけを十分に理解しているか。	①本事業に対する理解度・安定処理と有効利用	50	受送泥スケジュールを含めた汚泥処理の安定化	汚泥資源化センターの特性を踏まえた、運転・維持管理における安定化の方針
				焼却灰の資源化と埋立処分や消化ガスの有効利用への理解	焼却灰や消化ガス等の資源の一層の有効利用についての考え方
				履行実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ	本事業に必要な要員毎の能力についての考え方や本事業の管理に資する会社としての業務実績
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。 セルフモニタリングは機能するか。	②人員配置	45	適正な人員配置	具体的な人員配置計画や、想定される様々な事象に対応できる体制・技術力、従業員の労働環境に対する配慮
				有資格者の配置状況	有資格者の配置計画とその特徴
				研修教育の実施体制	従業員の研修・教育の内容と具体的実施方法
		③マネジメント	70	センター全体の総括管理、運営管理業務体制	PDCA を含む管理の体制や具体的実施方法
				会社全体のバックアップ体制、人員体制の継続性	施設の安定的な稼働を継続させるための会社全体のバックアップの考え方、従業員の安定的な確保や欠員補充への対応
				セルフモニタリングによる事業改善	事業の質を向上させるためのセルフモニタリングの実施内容
				引継ぎ時の協力体制	前受託者からの引継ぎ及び次受託者への引継ぎの両方を円滑に行うための考え方、体制等
運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。	④ 運 転 計 画・薬品調達等	75	施設全体の運転、処理状況の把握と管理	施設全体の状況把握と管理を最適化するための運転管理計画の考え方

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
				市の整備計画との整合性	市の整備計画を踏まえた運転管理計画の作成方針
				年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画	天候や季節による変動を前提とした安定化、及び定期点検や運営管理業務を踏まえた効率化のための運転計画の考え方
				適正な調達管理、選定基準の考え方	薬品やその他物品の調達管理の考え方、業務品質の向上に資する調達先の選定上の工夫
		⑤水質等管理	45	水質や排ガスの適正な管理、処理悪化時の対応方法	返流水水質や消化ガス、排ガス、汚泥等に係る基準値の遵守に対する工夫と異常発生時の具体的な対応策
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。	⑥ 定期点検・軽微な修繕	100	適正な日常点検と定期点検	施設の円滑な稼働のための日常点検・定期点検の具体的な実施内容と工夫
				予防保全の考え方	予防保全に関する維持管理基準の設定及びそれに伴う効果
				維持管理データの蓄積と活用（長寿命化計画や、整備計画への対応）	維持管理データの管理方法、及び本事業の維持管理や市側の計画策定時における提供や助言等、具体的な活用策
				ICTの活用	LAN等の情報通信設備における新技術の導入等、具体的な活用策や効率化への提案
				市との実施協議	軽微な修繕を含む維持管理業務実施時における市に対する報告や協議、連携等に対する具体的な考え方
				迅速かつ、適切な対応が可能な管理計画	軽微な修繕の実施体制や実施内容、突発的な事態への対応等、迅速な対応を可能とするための管理計画の考え方
				修繕先の選定方法	外注が必要となる場合における外注先選定上の工夫
リスク管理	施設の特徴を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する通常時の備え及び発生時の対応策は適切	⑦リスク項目に対する通常時の備え	55	災害、感染症、事故、故障等の施設の立地を踏まえた想定されるリスク及び当該リスクへの通常時の備え	施設の立地を踏まえた想定される各種リスク、及び当該リスクに確実に対応するための、定期訓練の実施等通常時の準備や体制に対する考え方
				会社としてのバックアップ体制	緊急時における会社としてのバックアップ体制に対する考

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
	か。				え方
				緊急時のマニュアル整備	緊急時に備えたマニュアルの具体的な作成方針
		⑧リスク項目発生時の対応策	55	上記の想定されるリスク発生時の具体的な対応策	想定されるリスクが実際に生じた際の応急処置及び市との連携方法に対する考え方
施設管理	安全、環境等に配慮した計画となっているか。	⑨安全、環境等への配慮	60	安全、防犯等への取組み	職員や見学者の事故を未然に防ぐための安全や防犯等に対する具体的な取組内容
				環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）の取組み	場内の美化や緑化等、市の施設として地域に貢献するための環境行動の具体的な取組内容
				消化ガスの有効活用やベルト濃縮機の稼働等を通じた省エネルギー、CO ₂ 削減等 SDGs への取組みに対する考え方	本事業における資源の有効利用やベルト濃縮機の積極的な稼働等を通じた、省エネルギーや CO ₂ 排出量の削減等、市の SDGs の目標達成に資する具体的な取組内容
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	⑩優れた提案	45	応募者の創意工夫による追加的な提案、地域活性化や、本事業に対する高度な提案	その他、市の政策目標を踏まえた、本事業や地域活性化等に資する有効な提案
合計			600		

イ 加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点)×1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点)×0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点)×0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点)×0.0

3 落札候補者選定の経緯

落札候補者選定までの主な経緯は以下のとおりです。

令和3年5月25日	入札公告
令和3年5月26日～6月16日	現場説明
令和3年7月6日	・入札参加資格確認書提出期限 提出者：月島テクノメンテサービス株式会社 横浜支店
令和3年7月20日	入札参加資格確認結果の通知
令和3年8月10日	・入札（書類受付） 入札者：月島テクノメンテサービス株式会社 横浜支店
令和3年9月8日	第3回検討部会（提案書評価作業）
令和3年10月20日	第4回検討部会（提案書評価作業）

4 応募状況

以下の1者から応募があった。

月島テクノメンテサービス株式会社横浜支店（審査では匿名とするため「むらさき社」とした。）

5 審査結果

(1) 参加資格確認

入札説明書第4項に示す事項について確認した結果、入札参加資格を有していることを確認した。

(2) 基礎審査結果

落札者決定基準の第3項に基づき基礎審査を実施した結果、入札価格（68億4,000万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）が予定価格（68億7,456万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）を下回っていた。また、特記仕様書との不整合もなかった。

(3) 本審査結果

本審査は、加算方式による評価を行う。総合評価点は1,000点満点とし、価格に関する配点を400点、業務提案の質に関する配点を600点とした。

総合評価点（1,000点満点）＝価格に関する評価点（400点満点）＋ 質に関する評価点（600点満点）

ア 価格審査結果

価格に関する評価点は次式のとおりに計算した。

$$\text{価格に関する評価点} = (\text{最低応札価格}) / (\text{応札価格}) \times 400$$

$400 \text{点} = 68 \text{億} 4,000 \text{万円} / 68 \text{億} 4,000 \text{万円} \times 400$

イ 提案書審査結果

審査委員5名による提案内容に関する審査を行った結果は以下のとおりである。

評価項目	小項目	配点	むらさき社
実施方針	本事業に対する理解度・ 安定処理と有効利用	50	37.50
業務実施体制	人員配置	45	33.75
	マネジメント	70	52.50
運転管理計画	運転計画・薬品調達等	75	56.25
	水質等管理	45	45.00
維持管理計画	定期点検・軽微な修繕	100	100.00
リスク管理	リスク項目に対する通常時の備え	55	27.5
	リスク項目発生時の対応策	55	41.25
施設管理	安全、環境等への配慮	60	60
独自提案	優れた提案	45	33.75
合 計		600	487.5

ウ 総合評価結果

価格審査、提案書審査を踏まえ、総合評価方式による本審査の結果は以下のとおりである。

審査項目	配点	むらさき社
価格審査	400	400.0
提案評価	600	487.5
合 計	1,000	887.5

エ 審査講評

評価項目	講 評
実施方針	豊富な業務実績のもと、安定的な事業実施が期待できる。
業務実施体制	業務に必要となる各要員の能力について明確な考えを有しており、有資格者の十分な配置や研修・教育の実施について適切に検討されている。 本社のバックアップ体制・業務継続計画（BCP）への体制が具体的に構築されている。また、業務モニタリングについても具体的に検討されており、効果的な業務実施が期待できる提案がなされている。
運転管理計画	天候の変化や季節の変動への対応について具体的に検討されている。また、薬品・その他物品の適切な管理及び調達についても検討されており、効率的な業務実施が期待できる提案がなされている。 仕様書よりも厳しい自主管理基準を設け、また追加分析項目を検討する等、水質管理に向けた適切な取組みが期待できる提案がなされている。また、処理水質悪化時の対応についても具体的な検討がなされている。
維持管理計画	ICT ツールの活用が積極的に検討されている。また市への情報提供・市との連携についても具体的に検討されており、評価できる提案がなされている。
リスク管理	各種リスクに対する平時からの備えや緊急時への対応策について検討されており、リスク発生時の継続的な業務実施が期待できる。ただし、立地や想定される災害を踏まえた、より具体的な対応策を期待したい。
施設管理	労働安全衛生マネジメントシステムに基づいた、業務環境の安全に向けた取組みについて具体的な提案がなされている。また消化ガスの有効利用やベルト濃縮機の常時運転等の取組みについても具体的に検討されており、環境へ配慮した提案がなされている。
独自提案	臭気漏洩への対応や地域福祉に貢献するための取組み等の独自提案がなされている。

オ 落札候補者の決定

入札説明書に定める審査を実施し、むらさき社【月島テクノメンテサービス株式会社横浜支店】を落札候補者として決定する。